

2020年代に向けた 情報通信政策の在り方について

～課題解決先進県・徳島の挑戦～



徳島県知事 飯泉 嘉門

ICTを活用した解決方法

今日的課題

過疎化・高齢化の進行

限界集落の増加

育児・介護離職問題
障がい者雇用問題

南海トラフ巨大地震への対応

グローバル化の進展

「徳島ならではの」処方箋

I アクティブ・シニアが活躍する
高齢社会の創造

II サテライトオフィスによる
「攻めの集落再生」

III 「テレワーク」によるワーク・
ライフ・バランスの実現

IV 「放送と通信の融合」による
防災・減災対策の推進

V 「4K」「Wi-Fi網」活用による
グローバル戦略の展開

I アクティブ・シニアが活躍する高齢社会の創造

過疎化・高齢化の進行

◆全国 2025年問題

- ・団塊の世代が75歳以上の高齢者となる
- ・65歳以上の高齢者が30%以上

※徳島県(2025年) 65歳以上の高齢者が35.8%

◆総務省人口推計(2013. 10)

- ・全国初、4人に1人が65歳以上の高齢者(25.1%)
- ・生産年齢人口は、32年ぶりに8,000万人を下回る

葉っぱビジネス「いろどり」

- 高齢化率は県内最高
52.6%(※県平均29.1%)
- タブレット端末を駆使して受発注
- 一方、医療費は県内市町村で
少ない方から3番目
- 若い世代のUIターンが活発
…4世代で生産する農家も!

料理のつまもの



【人口動態(上勝町)】

人口の「社会増」が「社会減」を上回る

シルバー大学校・大学院

- ICTコースを大学・大学院ともに設置

【大学校】倍率2.6倍

定員175名に対し、295名の申し込み(H25)

【大学院】

卒業要件

→「シニアITアドバイザー」3級資格取得
(H25末:573名)

※さらに、講師となれる1級取得者292人

【地域で活躍】

大学校や小学校でICTの講師を担当



2020年代には、ICTを駆使するアクティブ・シニアが活躍する高齢社会を実現
～「高齢者目線」に立ったヒューマンインターフェースの開発が不可欠!～

II

サテライトオフィスによる「攻めの集落再生」

限界集落の増加

◆限界集落の割合(徳島県) **35.5%**
全国平均の2倍以上(全国15.5%)

➡ **空き家や遊休施設が急増**

◆東日本大震災を契機に首都圏等のIT企業が、
“リスク分散”の動き

➡ **ワークスタイルを変革する気運の高まり**

「サテライトオフィスプロジェクト」の展開

高速ブロードバンド環境を活かした「攻めの集落再生」
H24.3～首都圏のICT企業を対象に本格展開

県内4市町に**20社**が進出！

➡ **43名の地元雇用**を創出(H26.4)

【人口動態(神山町)】

S45年以降、初の「社会増」が「社会減」を上回る

古民家と蔵を改装

(株)プラットイーズ
「えんがわオフィス」



進出企業の社員が、小中学校へ出前授業

過疎地でありながら世界最先端の仕事ができることを知り

➡ **ふるさとへの自信へ！**

「新しい働き方」の提案 → テレワーク

① 時間と場所を超越

企業 ⇒ **リスク分散**(本社と同じように仕事)

② ワーク・ライフ・バランス

社員 ⇒ “**癒し効果**”で業務効率UP「半X半IT」

③ 地域活性化

地元 ⇒ **地元雇用**、地域への誇り



2020年代には、中山間・人口減少地域をICTで活性化！

～「サテライトオフィス」の全国展開へ～

Ⅲ 「テレワーク」によるワーク・ライフ・バランスの実現

育児・介護離職問題、障がい者雇用問題

- ◆ **育児・介護離職** (女性管理職の離職防止、女性の社会進出)
- ◆ **障がい者の雇用**

【2020年政府の目標】

- ・テレワーク導入企業「2012年度比 **3倍**」
- ・指導的地位の女性割合「**30%**」

「新たな働き方」の実践と雇用創出

● **過疎地域**で**小規模コールセンター**の展開(H26～)

・コールセンターのメリット:子育て中や介護中でも柔軟に働くことが可能

➡ **産休・育休からの復帰率100%のコールセンターも!**

● **プライベートクラウド技術**を活用した障がい者の在宅就労を支援

・遠隔から受発注業務や勤怠報告等の管理やIT技能取得をサポート

➡ **障がい者の体調やニーズに応じた働き方が可能に!**

● **県庁版テレワーク**の推進

平時 本庁舎に遠隔地庁舎の「**サテライトオフィス**」設置の実証実験(H26～)

災害時 職員が**自宅等から公金管理**を行う**テレワーク**の実証実験(H25～)

➡ **平時における効率的な業務執行や、災害時における円滑な業務継続が可能に!**



小規模コールセンター
地元雇用(21名)
※**すべて女性**



2020年代には、時間や場所、平時・災害時を選ばず、ワーク・ライフ・バランスを実現!

IV

「放送と通信の融合」による防災・減災対策の推進

南海トラフ巨大地震への対応

※発生確率 60~70%

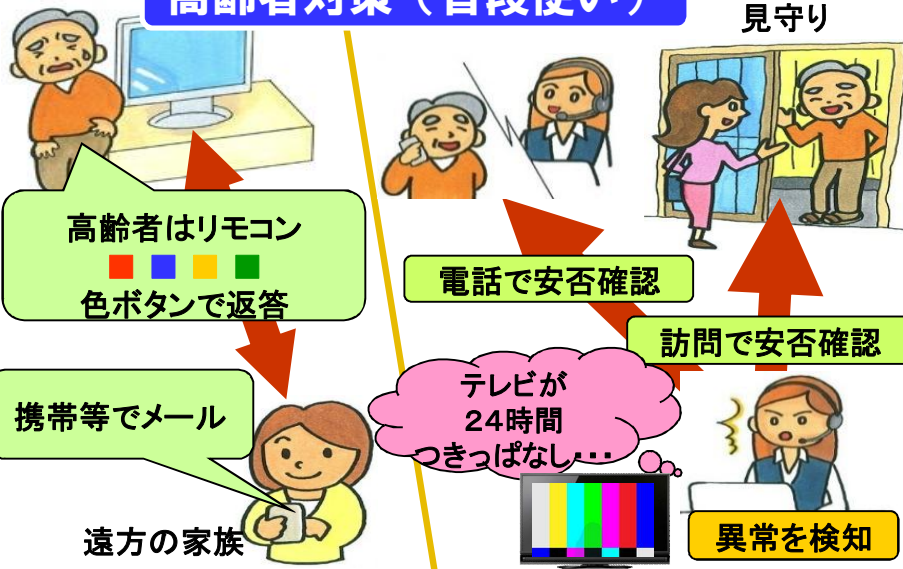
徳島県

- ◆ 津波高(最大): M9クラス、20.9mの大津波が襲来
- ◆ 被害想定(最大): 死者31,300人、避難者362,600人

テレビを使った「災害・高齢者対策」(JoinTownシステム)

全国初

高齢者対策 (普段使い)



災害対策



更なる利活用に向けて

①「マイナンバー制度」(2016. 1~)

➡ 投薬や既往症等の情報を防災情報として活用
※法施行後3年を目途に「民間ビッグデータ」の活用へ

②「マイ・ポータル」(2017. 1~)

➡ 多様なデバイスでのアクセス拡大(テレビやスマートフォン等)

2020年代には、「放送と通信の融合」による、助かる命を助けるJoinTownシステムの全国展開、そして世界へ

V 「4K」「Wi-Fi網」活用によるグローバル戦略の展開

グローバル化の進展

- ◆放送技術の高度化による**国際競争力の強化**
- ◆**インバウンド**(訪日外国人旅行者誘致)の推進【2020年目標 2,000万人】

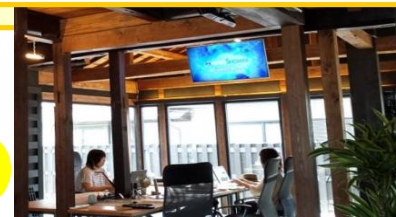
日本の成長戦略である次世代放送を徳島が先導！

全国初

CATVを活用したスーパーハイビジョン「4K」放送の実証実験開始(H25～)

【サテライトオフィス進出企業】+【地元NPO】
『**全国4K祭 in 神山**』を開催(H25.9.27)
➡『**とくしま4Kフォーラム2014**』H26開催予定

- ・2014年「ワールドカップ(ブラジル)」4K試験放送開始
- ・2016年「オリンピック(ブラジル・リオ)」8K試験放送開始
- ・2020年「オリンピック(東京)」スーパーハイビジョン普及へ



2020年代には、日本のスーパーハイビジョン技術を世界に普及・展開！

『**全県Wi-Fi・とくしま**』の実現(H26年度)

※総務省H25補正
「防災情報ステーション等整備事業」活用

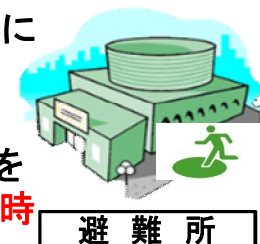
平時から発災時まで**リバーシブル**に活用できる「**公衆無線LANアクセスポイント**」の**全県整備**
平時

・SNSを活用して「徳島の魅力」を
外国人旅行者等に積極的に発信
→訪日外国人旅行者等を積極的に
誘客し、地域活性化の起爆剤に！



発災時

・県内の避難所、公園や防災拠点に
「公衆無線LAN」を整備
→通信手段の多重化を実現！
※「太陽光パネル」や「衛星設備」を
一部活用し、電源の喪失や断線時
でも通信の確保が可能



**2020年代には、情報通信インフラの強靱化を実現し、
日本ブランドの魅力発信やインバウンド政策を強力に推進！**

課題先進県から 課題解決先進県へ 「新たな時代を切り拓く処方箋」を 徳島から発信！



ご清聴ありがとうございました。